



てらうち たかお
寺内 孝夫

職 名 教授

担当科目 社会科教育法Ⅰ・Ⅱ
社会科・公民科教育法Ⅰ・Ⅱ
教職概論, 教育実習, 教職実践演習

研究テーマ 1. 人権に関する学習の進め方について
2. 学校における組織マネジメントについて

研究業績

- | | | |
|-----|----------|---|
| 著 書 | 1988年4月 | 『学校カウンセリングの方法』(事例のまとめ方を分担執筆, ぎょうせい) |
| | 1997年3月 | 『社会同和教育ハンドブックー指導者のための手引きー』(共著, 栃木県教育委員会) |
| | 1998年3月 | 『社会同和教育指導資料ー参加体験型人権学習の実際ー』(共著, 栃木県教育委員会) |
| | 2015年3月 | 『先輩教師からのメッセージⅡ』(共著, 栃木県総合教育センター) |
| 論 文 | 1983年2月 | 「教育相談を生かした授業の推進」(『すずかけ第3号』栃木県立鹿沼商工高等学校) |
| | 1985年3月 | 「生徒理解についての一考察」(『昭和59年度内地留学報告書』栃木県教育委員会) |
| | 1986年12月 | 「ケースレポート: ふれあいを求める子どもたち」(『教育相談研究紀要20周年記念号』栃木県学校教育相談研究会) |
| | 1989年3月 | 「主体的思考力の形成のためにー「世界史」からの取組」(『清翔第2号』栃木県立宇都宮清陵高等学校) |
| | 1990年6月 | 「実践記録: 生徒の学習のつまづきとその指導ー世界史学習指導の改善」(『下野教育第659号』栃木県連合教育会) |

社会的活動

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 1988年8月 | 社会教育主事資格取得(宇都宮大学) |
| 1999年10月 | 栃木県教育委員会制作一人権・同和問題啓発映画『雲が晴れた日』企画・制作委員 |
| 2004年4月 | 全国高等学校通信制教育研究会常務理事(～2006年3月) |
| 2006年4月 | 日本学校教育相談学会認定・学校カウンセラー資格取得 |
| 2006年7月 | 全国歴史教育研究協議会第47回研究大会栃木大会総務 |
| 2008年4月 | 関東甲信越地区青少年教育施設協議会理事(～2010年3月) |
| 2012年4月 | 栃木県高等学校長会副会長(～2014年3月) |
| 2012年9月 | スクールカウンセリング推進協議会認定・ガイダンスカウンセラー資格取得 |

略 歴

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 1978年3月 | 学習院大学経済学部経済学科卒業(経済学士) |
| 1978年4月 | 栃木県公立学校教員、栃木県立鹿沼商工高等学校教諭 |
| 1984年4月 | 筑波大学内地留学(教育相談) |
| 1985年4月 | 栃木県立宇都宮高等学校(通信制)教諭 |
| 1987年4月 | 栃木県立宇都宮清陵高等学校教諭 |
| 1991年4月 | 栃木県教育委員会事務局社会教育課(現生涯学習課)社会教育主事 |
| 1998年4月 | 栃木県教育委員会事務局総務課同和教育室(現人権教育室)指導主事 |
| 1999年4月 | 栃木県教育委員会事務局総務課人権教育室副主幹 |
| 2002年4月 | 栃木県教育委員会事務局総務課課長補佐 |
| 2004年4月 | 栃木県立宇都宮高等学校(通信制)教頭 |
| 2006年4月 | 栃木県立宇都宮南高等学校教頭 |
| 2008年4月 | 栃木県芳賀青年の家所長 |
| 2010年4月 | 栃木県立小山城南高等学校校長 |
| 2012年4月 | 栃木県立大田原高等学校校長 |
| 2013年10月 | 教育功労者表彰(栃木県教育委員会) |
| 2014年4月 | 下野市福祉部こども福祉課家庭相談員(児童虐待対応) |
| 2015年4月 | 栃木県総合教育センター教育研修専門員 |
| 2017年4月 | 宇都宮共和大学シティアライフ学部教授(～現在に至る) |

所属学会

日本学校教育相談学会

自己アピール

これまでの高校教育現場での教育実践をはじめ、学校教育・社会教育行政、各種教員研修、教育相談活動などの経験を活かして、教員を目指す学生諸君を支援していきます。